

1→10

「ポジティブスイッチ 絶望からの思考革命」出版記念

「堀内勉×澤邊芳明」特別対談

～「社会的事業を支えるファイナンス 金融でSDGs」公開～

XRやAI等の先端技術で社会課題の解決に取り組む株式会社ワントゥーテン（本社:京都府京都市、代表:澤邊芳明）は、「読書大全 世界のビジネスリーダーが読んでいる経済・哲学・歴史・科学 200冊」の著者で多摩大学社会的投資研究所教授・副所長の堀内勉とワントゥーテン CEO 澤邊芳明との対談の様子を収めた動画を10月25日（火）よりワントゥーテン公式 YouTube チャンネルにて公開いたしました。この特別対談は各分野で活躍するトップランナーを招いてワントゥーテン CEO の澤邊芳明が「ポジティブスイッチ」というテーマで対談するシリーズ企画で、タレントの田村淳氏、「伝え方が9割」著者の佐々木圭一氏などとの対談動画も公開中です。この対談は、8月に小学館より発売され、Amazon 売れ筋ランキング「起業・開業ノンフィクション」部門 第1位（8月2日調べ）を獲得した「ポジティブスイッチ 絶望からの思考革命／澤邊芳明（著）」の出版を記念して実施されます。



ゲスト堀内勉 <https://youtu.be/SEFqLzTylhk>

■トークテーマ

コロナ禍を経て、日本社会が以前から抱えていた様々な課題が浮き彫りになっています。先の見えない社会のなかで、不安や恐怖、無気力といった感情に襲われてしまうことは、誰にでも起こりうるものかもしれません。この特別対談では、さまざまな分野で活躍するトップランナーをゲストに招き、それぞれが経験したネガティブな状況をどのように克服してきたのか？等、彼らの思考法から、個人や組織、そして日本社会全体を“ポジティブスイッチ”するヒントを探ります。

聞き手は、ワントゥーテン CEO 澤邊芳明。18歳の時にバイク事故によって頸髄を損傷。首から下が動かない障がい者でありながら、AIやXRなどの最先端テクノロジーを駆使するクリエイティブ集団「ワントゥーテン」を率いる経営者です。

■出演者プロフィール

堀内勉（ほりうち つとむ）



多摩大学社会的投資研究所教授・副所長

東京大学法学部卒業、ハーバード大学法律大学院修士課程修了。1984年日本興業銀行（現みずほ銀行）入行。興銀証券（現みずほ証券）、ゴールドマンサックス証券、森ビル・インベストメントマネジメント社長、森ビル取締役専務執行役員 CFO を経て、現在は、100年企業戦略研究所所長、アジアソサエティ・ジャパンセンター理事・アート委員会共同委員長、川村文化芸術振興財団理事、ダイアログ・ジャパン・ソサエティ理事、社会変革推進財団評議員、READYFOR 財団評議員、田村学園理事・評議員、麻布学園評議員、経済同友会幹事、書評サイト HONZ レビューアーなどを務める傍ら、資本主義の研究をライフワークとして、多様な分野の学者やビジネスマンと「資本主義研究会」を主催している。

澤邊芳明（さわべ よしあき）



株式会社ワントゥーテン 代表取締役社長 CEO

1973年東京生まれ。京都工芸繊維大学入学後、18歳の時にバイク事故に遭い、手足が一切動かない状態となる。復学後、24歳で創業。XRとAIに強みを持ち、総勢約120名からなる近未来クリエイティブカンパニー1→10（ワントゥーテン）を率いる。東京五輪では、組織委員会アドバイザーを務め、メダルデザイン審査員や複数のスローガン作成を行った。歌舞伎座史上初の完全完売となった市川海老蔵のイマーシブプロジェクトマッピング演出、ポリュメトリックビデオ技術を活用した世界初バーチャル歌舞伎のLIVE配信、世界遺産・元離宮二条城でのAIを組み合わせた巨大ランドプロジェクト、 「2020年ドバイ国際博覧会」バーチャル日本館などのデジタル

シフト施策、人型ロボット Pepper の言語エンジン開発、ソードアート・オンラインやドラゴンクエストといった人気 IP の VR コンテンツ開発など、数々の先進的なプロジェクトを成功させる。自身の体験から、現実と仮想空間を横断し、あらゆる人々が自由に知性を拡張できる未来の実現を目指す。

著書に『ポジティブスイッチ 絶望からの思考革命』（小学館）。

■関連情報



「ポジティブスイッチ 絶望からの思考革命」 著／澤邊芳明

発売日 2022年8月1日／定価 1650円（税込）／出版社 小学館

Amazon 売れ筋ランキング「起業・開業ノンフィクション」部門 第1位（8月2日調べ）

小学館 HP : <https://www.shogakukan.co.jp/books/09388869>

Amazon : <https://amzn.to/3S96egi>

〈 書籍の内容 〉

逆境を楽しみ尽くす！

澤邊芳明の人生は、大学入学直前の1992年に突如暗転した。バイク事故によって頸髄を損傷。首から下は動かない。入院生活で幾度も絶望に打ちひしがれた末、ある思考に辿り着いた。

「俺は障害を受け入れない」

事故前の身体に戻ることは難しい。ならば社会そのものを変えよう——澤邊が「ポジティブスイッチ」を初めて意識した瞬間だった。

病室で、インターネット登場前のパソコンに情報技術の可能性を見抜き、ほぼ独学で習得。復学後、ワンツーテンを京都に創業した。ネット広告で躍進を経て、東京進出。現在は、AIやXRなどの最先端テクノロジーを駆使するクリエイティブ集団として世界の注目を集める。

1ミリも体を動かさない経営者は、それゆえに自由を希求し、世界を動かし続ける。事故から約30年に及ぶ道のりを綴った本書は、異端経営者のビジネス立志伝にして、知的武装を可能にする思想書でもある。

特異な人生を歩んでいるように見える。しかし、彼が「ポジティブスイッチ」とよぶ問題解決アプローチは、「誰にでも再現できる」と澤邊は言い切る。

<私がお伝えしたいのは、ポジティブでいるということはあくまでスキルであり、誰でも習得できる思考法だということです>——本書より

■「ポジティブスイッチ 絶望からの思考革命」特別対談

日本を「ポジティブスイッチ」する動画、公開中

出版記念 特別対談

田村淳 (タレント)
野村忠宏 (柔道家)
市川海老蔵 (歌舞伎俳優)
堀内勉 (『読書大全』著者)
佐々木圭一 (『伝え方が9割』著者)
澤邊芳明 (フントゥーテンCEO)

POSITIVE SWITCH
ポジティブスイッチ
絶望からの思考革命
SAWABE YOSHIKAZU 澤邊芳明

18歳の春、1ミリも動かさなくなった体。
バイク事故で1ミリも動かさなくなった体。
事故前に戻ることが難しいなら
社会そのものを変えてやる
クリエイティブ集団「1→10」CEOの異端経営 100

Broadcast on YouTube

YouTube：ワントゥーテン公式チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCxvAjheFwuVH_EPm_adBR3w

第1回ゲスト：『伝え方が9割』著者 佐々木圭一「ネット会議で使える"超スゴ技"伝授！」

第2回ゲスト：小学館 編集者 柏原航輔「絶望的な退屈を有意義な時間に変える思考法」

第3回ゲスト：タレント 田村淳「あなたの3年後が変わる田村淳の最強思考法」

第4回ゲスト：歌舞伎俳優 市川海老蔵「澤邊×海老蔵が自らの過去を語る」

第5回ゲスト：『読書大全』著者 堀内勉「社会的事業を支えるファイナンス 金融でSDGs」

第6回ゲスト：柔道家 野村忠宏 ※近日公開予定

■株式会社ワントゥーテン/1→10,Inc. について

人間の永遠の課題に挑み、創造力で人類の可能性をひらく、近未来クリエイティブカンパニー。最先端のAI技術を駆使したサービス開発やプロジェクションマッピング・XRを活用した数々のプロジェクトを日

本国内及び世界各国で展開する。日本の伝統に創造性とテクノロジーを掛け合わせ日本をアップデートする「ジャパネスクプロジェクト」、パラスポーツとテクノロジーを組み合わせたスポーツエンターテインメント「CYBER SPORTS プロジェクト」など、先端テクノロジーによる社会課題解決をテーマに世界中の人々の知的好奇心をかき立て続ける。

【ワントゥーテンの代表的なプロジェクト】

「ドバイ万博日本館」デジタルシフト施策の企画・製作、体験型商業施設「羽田出島 | DEJIMA by 1→10」、知育エンターテインメント施設「ENNICHI by 1→10」、夜の旧芝離宮恩賜庭園や名古屋城でのライトアップイベント「YAKAI by 1→10」、市川海老蔵「歌舞伎座百三十年 七月大歌舞伎 夜の部『通し狂言 源氏物語』」でのイマーシブ（没入型）プロジェクト、サイバーパラスポーツ「CYBER BOCCIA（サイバーボッチャ）S」・「CYBER WHEEL（サイバーウィール）X」、月額課金型クラウドファンディング「ENU（エヌ）」など。

URL : <https://www.1-10.com/>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ワントゥーテン 広報 担当：太佐／ E-Mail：tasa@1-10.com [TEL:070-2318-5998](tel:070-2318-5998)